



## 感動発見・大津島文化祭

11月2日(日)大津島小学校を会場に第18回大津島文化祭が開催されました。

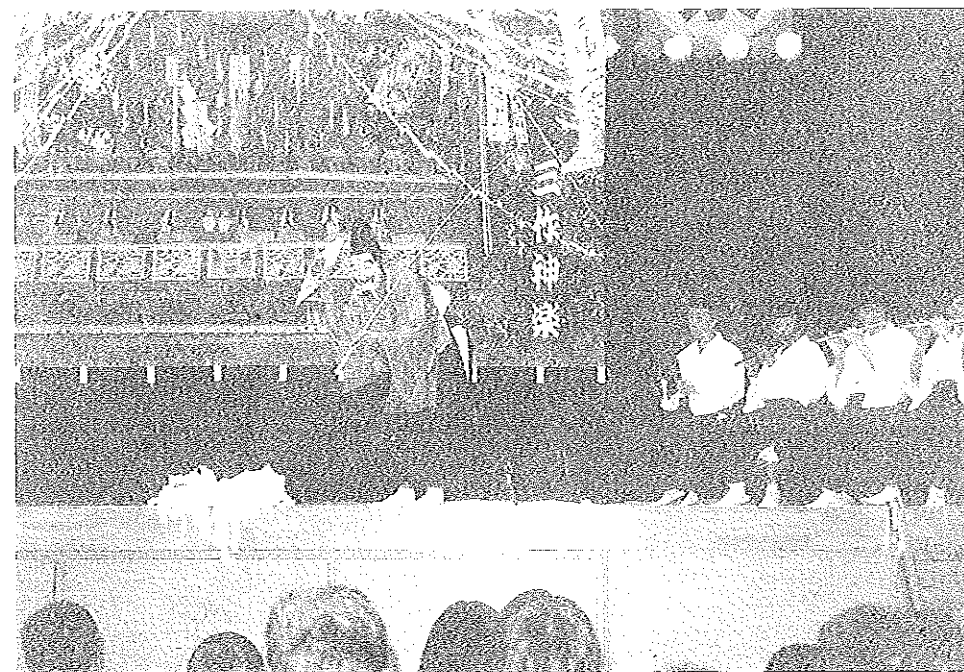
体育館のステージ午前の部の発表は幼稚園児の可愛い遊戯「ひょっこりひょうたん島」で幕をあけ・小学生の劇「はだかの王様」・合奏、中学生の「大津島をきれいにしよう」の学習発表、そしてゲスト企画として周南市和田地区三作(林・赤原・中村の三自治会を合わせて三作りという)に古くから伝承されてきた、国の指定重要無形民俗文化財「三作神楽」から…清めの舞・恵美須の舞・紫鬼神の舞が三作神楽保存会により舞われ、神祭りとしての古風な形をとどめた、中世の華やかな祭り芸能が会場一杯に拡がり観衆は暫し時のたつのを忘れ見入っていました。

午後からの部には、地域の皆さんも加わり練達の舞踊やカラオケの発表で大変な盛り上がりようでした。

又、会場に作品展が設けられ一般の生花・書道・刺繍絵・写真や学校関係作品等が掲・展示され、皆さんその出来映えに感心しながら熱心に鑑賞していました。

屋外では婦人会の弁当・うどん、PTAの焼き鳥等のバザーで大賑わいでした。

最後の閉会式企画は参加者全員で「ふるさと」を斉唱、「ふるさと大津島」への皆の思いがひとつになりました。



恵美須の舞

いつもご苦労様です。

三つ石天浦間の道路沿いの草刈りや花壇作りの奉仕活動を長年にわたり続け、道行く人の心を和ませている安部美喜さんの環境美化活動の趣旨に賛同し、安達壽富・石田悟・中濱末喜の三氏は10月の初旬、刈り取った草の除去をするなどのお手伝いに汗を流し、安部美喜さんから大変感謝されました。三人はこれからも出来るだけ都合を付けて協力をされるようです。しかし、小人数での活動には困難な面が多々あるので地域全体で協力したいものです。

